

能と狂言

鍔仙会

TESSENKAI

# 青山能

2026年9月27日(日)  
【1部】12時開演(午前11時30分開場)  
会場 鍔仙会能楽研修所

仕舞

松風

まつかぜ

菊慈童

きくじどう

鶴澤

光

柴田

稔

能

通盛

みちもり

清水

寛二



# 鏡仙会青山能〈9月〉1部

2026年9月27日(日) 12時開演

仕舞

## 松風

柴田 稔

## 菊慈童

鶴澤 光

## 能 通盛

前シテ 漁翁 清水 寛二  
後シテ 平通盛

ツレ 小宰相局 浅見 慈一

ワキ 僧 野口 能弘

アイ 鳴門ノ浦人 河野 佑紀

笛 藤田 次郎

小鼓 鶴澤洋太郎

大鼓 亀井 広忠

太鼓 小寺真佐人

地頭 馬野 正基

### 松風

松風・村雨という汐汲みの姉妹が在原行平と遇った日々を懐旧し、秋の須磨浦の美しい情景とともに語る、恋の情念ほとばしる能。

仕舞では松風が松に行平の面影を重ねて恋慕し、やがて朝の浦に消えてゆく最後の場面を見せる。

### 菊慈童

中国鄞縣山で七〇〇歳の慈童が不老長寿を祈念する、明るく朗らかな能。

仕舞では慈童が霊水を得た妙文の功德を讃え、帝の治世を祈念する最後の場面を見せる。

### 通盛

舟漕ぐ楫音が静かに鳴る、阿波鳴門の浦。そこで一夏を送る僧が、平家一門を弔い毎夜の読経をしていると、釣舟に乗った夫婦が現れる。夫婦は篝火を寄せて真夜中の読経を手助けし、この浦に入水した小宰相局のことを語り、海底へと姿を消す。

先刻の夫婦は平通盛とその妻小宰相局の幽霊であったかと僧が供養をしていると、読経の声に引かれ在りし日の姿で二人が現れた。通盛は局との最後の逢瀬、合戦の有様を現すと、読誦の声に心を和らげ成仏するのであった。戦乱の世を生きた二人の悲恋を描いた能。

〈午後1時45分頃終演予定〉

終演後に能楽小講座あり。

その日の演目を中心に、能楽師が初めての方にも分かりやすくお話し致します。

◎より詳しい解説を鏡仙会ホームページにて順次公開しております。ご観能前に是非ご覧下さい。

※携帯電話等、音や光の出る機器の電源は予めお切り下さい。

※無許可の写真撮影、録音、録画は固くお断り致します。

※客席内での飲食はご遠慮下さい。

※混雑状況や準備の都合により、開場時間が前後する場合がございます。

会場：鏡仙会能楽研修所(全自由席)

〈交通〉地下鉄表参道駅下車  
(銀座線・千代田線・半蔵門線)  
A4出口より徒歩3分

〒107-0062

東京都港区南青山4-21-29

TEL03-3401-2285

※駐車場はございません。  
お車での来場はご遠慮下さい。

入場料：一般 5,000円

U25(25歳以下) 2,500円

ベンチ席 5,500円(正面最後列)

回数券 定期公演・青山能共通/5枚綴り

一般回数券 22,000円

U25(25歳以下)回数券 11,000円

※2026年度の定期公演・青山能でご利用頂けます。

ご予約受付中。詳しくは鏡仙会までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ・お申し込み：鏡仙会

電話 03-3401-2285(平日10~17時)

ホームページ <http://www.tessen.org>

予約受付開始：2026年5月11日(月) WEB10時 電話13時

鏡仙会定期公演〈10月〉予告

会場：観世能楽堂

10月9日(金) 午後6時開演

### 舞囃子 山姥

狂言 魚説法

能 野宮

舞囃子 山姥

狂言 魚説法

能 野宮

青山能〈10月〉1部 予告

10月25日(日) 12時開演

狂言 隠狸

能 浮舟

青山能〈10月〉2部 予告

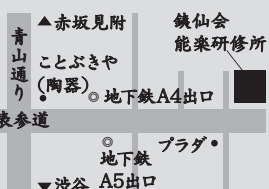
10月25日(日) 午後4時開演

能 融

青山能〈10月〉2部 予告

10月25日(日) 午後4時開演

能 融



狸約の名手であることを主に隠す召使は狸を市に売りに出てまどバクッ…。  
薫中將と句巻の二人の愛に揺れる浮舟は物性に憑かれ行方知れずとなる…。  
牙え渡る月の下、河原院の廃墟で融の霊は華やかなりし日々を思い優雅に舞う。  
写真 能「通盛」八世観世鏡之丞 撮影…亀田邦平